



タクロバンの海沿いで壊滅した住宅地跡。顔を洗う少女が中央に見える



壊滅的な被害を受けたタクロバン市内の道路を荷物運んで歩く親子

道路に面して立てられた板には「助けて、食料を」と書かれていた＝タクロバンで



# フィリピン台風被災者に 救援金2540万円を贈呈

2013年11月8日、台風30号がフィリピン中部に上陸しました。最大瞬間風速80メートル以上という史上最強クラスの台風の直撃を受けたレイテ島は、暴風雨と高潮に見舞われ、住宅や建物が次々と濁流にさらわれました。

死者、行方不明者は合わせて約8000人。被災者は1000万人を超え、同国を襲った自然災害としては過去最悪の惨事となりました。

濁流から逃げ惑う住民や折り重なった

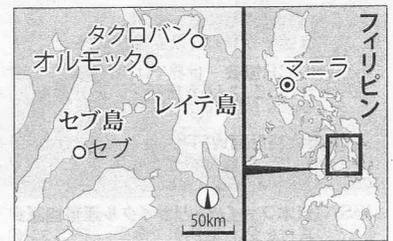
車、がれきに埋もれた町の映像が世界に流れるや、国際社会の支援も本格化しました。UNHCRなどの国連救援機関をはじめとしてNPOやNGOなどの非政府組織も次々と現地入りして救援活動を続けました。

毎日新聞社も被災直後から、取材チームを派遣し、その被災地の惨状や住民の表情を、連日紙面で大きく報道し、当事業団も早くから被災者救援を呼びかけました。

「支援は遅く、食料も何も届かない」、「子どもは病気になってしまった。どうか助けてほしい」などという被災者の肉声が紙面に掲載され、大きな反響を呼びまし



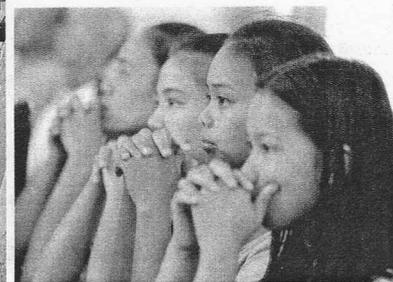
400年以上の歴史がある受胎告知教会礼拝堂も、台風30号の暴風雨で無残な姿に



た。読者の皆様から東京・大阪・西部社会事業団に寄せられた寄付金は、2150件で2540万6108円になりました。

救援金は日本ユニセフ協会、国連UNHCR協会、国連世界食糧計画WFP協会などの国連救援機関や、現地で救援活動をしているAMDA（緊急医療NPO法人）など非政府組織に寄託いたしました。ご協力いただきました読者の皆様に厚くお礼申し上げます。

贈呈先は次の通りです。（順不同）▽日本ユニセフ協会▽国連UNHCR協会▽国連世界食糧計画WFP協会▽AMDA▽アジア協会アジア友の会▽日本国際飢餓対策機構▽アジア日本相互交流センター（以上7団体）



日曜ミサで、台風で亡くなった人たちの想い、賛美歌を歌う少女たち

フィリピン政府の援助物資の配給に並ぶ人々

